

厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業  
「遺伝学的手法における診断の効果的な実施体制に関する研究」班

| 平成24年度 公開シンポジウム |

# ゲノム診療の未来を考える — 遺伝学的検査の提供体制のあり方 —

日時 平成24年9月22日(土) 13:00~17:00

場所 東京国際フォーラム G602 参加費 無料

主催 「遺伝学的手法における診断の効果的な実施体制に関する研究」班

PROGRAM

## 第1部 【座長】松原 洋一(東北大学)

- 13:00-13:05 挨拶 辻 省次(東京大学・研究代表)
- 13:05-13:20 本研究班の研究成果と遺伝学的検査提供体制についての提言に向けて  
辻 省次(東京大学)
- 13:20-13:35 日本における現状調査とNPO法人による遺伝子検査提供  
松原 洋一(東北大学)
- 13:35-13:50 英国及び米国の現状  
小崎 健次郎(慶応大学)
- 13:50-14:05 検査法・解析技術の進歩 — 次世代シーケンサー —  
三井 純/石浦 浩之(東京大学)
- 14:05-14:20 遺伝学的検査の提供におけるナショナルセンターの役割  
奥山 虎之(国立成育医療研究センター)
- 14:20-14:35 染色体異常症の診断の進歩と検査提供体制の現状及び問題点  
福島 義光(信州大学)
- 14:35-14:50 民間検査機関(衛生検査所)の取組みと課題  
堤 正好(エスアールエル)
- 14:50-15:00 休憩

## 第2部 【座長】辻 省次

- 15:00-15:15 難病対策の現状と課題  
中尾 武史(厚生労働省健康局疾病対策課)
- 15:15-15:30 遺伝学的検査:希少難病患者・家族からの期待  
小泉 二郎(SORD)
- 15:30-15:45 ジャーナリズムから見た検査の課題  
浅井 文和(朝日新聞)
- 15:45-16:00 ゲノム診療を進めるためにやるべきこと  
金澤 一郎(国際医療福祉大学大学院)
- 16:00- パネルディスカッション  
【座長】難波 栄二(鳥取大学)

[問い合わせ先]ゲノム医学センター事務室

TEL: 03-3815-5411 [内線]35460 E-mail: utneurology@gmail.com